

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 4 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	風力発電を中心とした再生可能エネルギー等の新たな市場形成手法の確立と地域理解促進事業
補助事業者名	いわき市
補助事業の概要	<p>風力発電の導入拡大を進めるうえで最も重要な「地域理解」を得るためには、“安全・安心な発電所の運用”と“地域での産業効果を創出すること”が不可欠である。本市では、これまで風力発電メンテナンス産業に焦点を絞り、人材育成、産業育成の手法の確立に向けたこれまでの取組みにより、域内リソース向けの取組みは一定程度見通しが立ってきたところである。</p> <p>今後は、育成した企業、人材が活躍できる持続可能な市場を形成することが重要となるため、新たな市場形成に向けた F S 調査を実施するとともに、地域理解促進に資する風力発電シンポジウムの開催や様々な媒体による情報発信を行う理解促進事業を実施。</p>
総事業費	29,867,270 円
補助金充当額	29,867,270 円
定量的目標	<p>カーボンニュートラル宣言以降、風力発電をはじめとした再生可能エネルギー・次世代エネルギー関連産業を取り巻く環境は急激に変化しているため、その現状と今後の展望について調査・分析を行い、市内産業界に与える影響等を明らかにすることにより、本市の産業戦略の基礎とし、エネルギー関連産業の創出及び域内企業の更なる参入促進を図る。</p> <p>また、こうしたエネルギー産業の環境変化の現状や今後の展望等を地域産業界や住民等に広く発信することで地域理解を促進し、更なる再エネの導入拡大につなげ、エネルギー政策と産業政策の両立を果たす。</p> <p>具体的には、調査事業において本市を含む福島県内において戦略的な風力発電市場の形成・拡大に向けたロードマップを策定するとともに、地域理解促進事業として、市内企業、関係機関、地域住民、学生など様々な階層約 100 名程度を対象としたシンポジウムを開催し、地域理解の促進を図る。</p>

<p>補助事業の成果及び評価 (事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど)</p>	<p>令和4年度の調査事業により、成長14分野別に市内企業の参入可能性や課題が明確となったことで、今後、市内産業界の産業力・競争力強化に向けた戦略的なアプローチが可能となった。また、風力関連産業の創出に向けては、本市を含む福島県内における市場形成・拡大に向けたロードマップを作成できたことにより、アプローチすべき市場が明確になった。今後は、本事業で得た調査結果を踏まえ、地域を始め、国県や業界団体、発電事業者等のステークホルダーと適切な対話を行い、戦略的に市場形成・拡大を目指していく。</p> <p>また、地域理解促進事業として開催した風力発電シンポジウムでは、目標としていた100名程度を大きく上回る約160名が参加し、開催後に行ったアンケート調査においては、「風力に対する理解が深まった」、「今後を活かせる」、「市として風力産業の創出に力をいれるべき」といった回答を約95%以上の回答者から得られ、着実な地域理解の向上に繋がった。</p>	
<p>補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)</p>	<p>契約の目的</p>	<p>カーボンニュートラルを支える風力発電を中心とした再生可能エネルギー等の市場調査事業</p>
	<p>契約の方法</p>	<p>公募型プロポーザル方式による随意契約</p>
	<p>契約の相手方</p>	<p>株式会社東洋設計</p>
	<p>契約金額</p>	<p>25,850,000円</p>
	<p>契約の目的</p>	<p>風力発電を中心とした地域理解促進事業</p>
	<p>契約の方法</p>	<p>随意契約</p>
	<p>契約の相手方</p>	<p>株式会社いわき市民コミュニティ放送</p>
	<p>契約金額</p>	<p>3,868,370円</p>
<p>来年度以降の事業見通し</p>	<p>本年度得られた調査結果を活かし、本市を含む福島県沖での市場形成可能性が見込まれる浮体式洋上風力市場の実現可能性について調査・分析を行い、戦略的な市場形成・拡大を目指す。</p> <p>さらに、これまで注力してきた風力メンテナンス分野への地域企業参入促進に加え、現場レベルで求められる部品供給等に関する地域内での受注体制の強化に向けた調査検討を進める。</p>	

(様式 4 : 全対象事業共通)

令和 3 年度第 1 回エネルギー構造高度化・転換理解促進事業評価報告書

補助事業名	風力発電関連産業の創出と安全安心な発電事業構築に向けた地域理解促進事業
補助事業者名	いわき市
補助事業の概要	風力発電の導入拡大を進めるうえで最も重要な「地域理解」を得るためには、“安全・安心な発電所の運用”と“地域での産業効果を創出すること”が不可欠である。これまで実施した調査結果を踏まえ、安全安心の確保及び産業振興の両立を実現するため、地域の保安・保全を支えるメンテナンス人材を育成するための仕組みづくりと、地域企業の参入促進に向けた「地域人材（企業）育成のための評価手法の構築に向けた調査検討及びトライアル運用」を実施するとともに、様々なメディアを通して、産業界・教育界・地域住民などに対し、風力発電に対する安全安心の確保と地域経済活性化に向けた取組みについてトータルプロモーションを実施。
総事業費	49,938,140 円
補助金充当額	49,938,140 円
定量的目標	地域企業が風力メンテナンス業務への本格参入に必要な人材育成モデルの構築及びトライアル運用を実施することで、参入促進を図るとともに保安力を高めるとともに、こうした取組みをはじめ風力発電に関するプロモーション活動を地域と一体となって発信し、地域理解の促進に結び付けるといった相乗効果を生み出し、エネルギー構造の高度化に向けた好循環を図る。 また、風力発電メンテナンス業務への参入促進に向けた環境整備の構築、トライアル運用により、5 社程度、約 10 名の風力メンテナンス技術者を育成・供給する。
補助事業の成果及び評価（事業毎にあらかじめ設定した事業目標を達成したかなど）	令和 3 年度事業（令和 4 年度に一部繰越）においては、風力発電の保安力・保全力の向上及び地域企業参入促進に資する風力メンテナンス人材の育成手法の構築を目指し、本市と連携協定を締結している東大先端研を始めとした関係協力機関との議論を踏まえ、地域企業が技術力に応じて段階的に参入を図ることが必要であるとの判断のもと、各段階に応じた技術者の育成と併せて技術・知識の認定を行う制度として、いわき市発で国内唯一となる「風力発電メンテナンス人材認証制度（以下「認証制度」）」の構築をスタートした。 また、当該認証制度の講習プログラムも一部開発し、地域企業等 8 社 12 名参加によるトライアル事業を実施したことにより、地域企業の風力メンテナンス業界への参入機運の向上が図られ

	<p>るとともに、制度運用に係る課題の把握と今後の方向性を導き出した。</p> <p>更に、国内唯一となる上記取組みについて、ラジオ、パンフレット、動画、新聞等様々な媒体により積極的にプロモーションを行ったことにより、着実に地域理解の向上に繋がり、地域企業等からの風力業界参入に関する相談も増加した。</p> <p>なお、令和4年度以降は、認証制度の早期社会実装を目指し、関係機関と連携して構築作業を進め確実に社会実装し、実装後は毎年、市内企業10社30名程度、市外企業20社60名程度の風力メンテナンス技術者を育成・供給するとともに、市内企業の風力産業界への参入を促進する。</p>	
<p>補助事業の実施に伴い締結された売買、貸借、請負その他の契約 (※技術開発事業のみ：間接補助を行った場合は、間接補助先を記載)</p>	<p>契約の目的</p>	<p>風力メンテナンス人材の育成手法の構築に向けた調査検討及びトライアル事業</p>
	<p>契約の方法</p>	<p>公募型プロポーザル方式による随意契約</p>
	<p>契約の相手方</p>	<p>株式会社東洋設計</p>
	<p>契約金額</p>	<p>44,550,000円</p>
	<p>契約の目的</p>	<p>地域一体による風力発電プロモーション事業</p>
	<p>契約の方法</p>	<p>随意契約</p>
	<p>契約の相手方</p>	<p>株式会社いわき市民コミュニティ放送</p>
	<p>契約金額</p>	<p>4,975,520円</p>
<p>来年度以降の事業見通し</p>	<p>安全安心の確保及び産業振興の両立の実現のため、認証制度の早期社会実装に向けた取組みを進めるとともに、本取組みを全国に発信し続ける。</p> <p>さらに、地域内で育成した人材が活躍するために必要不可欠な新たな風力関連の市場形成に関する調査を実施するとともに、カーボンニュートラル時代における風力以外の再エネ・新エネ等成長分野への転用可能性等（地域企業のエンジニアリングシフトの可能性）についても調査検討を進める。</p>	